

ブラームスの歌曲

「わが恋は緑」は《リートと歌》作品 63 の第 5 曲。作品 63 の他の曲は 1874 年に書かれたが、本曲だけは（師シューマンの末子フェリクスが書いた詩に作曲し、クリスマスプレゼントとして贈られたため）前年の 12 月 24 日に完成している。「調べのように私を通り抜ける」は、1886～88 年にかけて作曲された《5 つの歌》作品 105 の第 1 曲。詩はブラームスと同時代の詩人クラウス・グロートで、調べ（メロディ）のとりえがたい儂さを歌う。チェコの詩人ヨーゼフ・ヴェンツィヒの詩を用いた「永遠の愛について」は、1864 年に書かれた《4 つの歌曲》所収。ブラームスの歌曲のなかでも規模が大きく、青年が娘を家に送っていく道中の対話を描いている。「失望」は、1877 年に完成した《5 つの歌》作品 72 の第 4 曲で、安らぎを求める失意の心を歌う。

ベルクの歌曲

「私の両眼を閉じてください」は、19 世紀ドイツの作家テオドール・シュトルムの詩による。ベルクは同じ詩を用いて 1907 年と 1925 年に作曲しているが、本日お届けするのは前者で、のちに妻となるヘレーネに捧げられている。1910 年に作曲された《4 つの歌》作品 2 からは抜粋で 3 曲をお届けする。深い眠りに落ちていくような「眠ること、眠ること、ただ眠ること」は 19 世紀ドイツ詩人・作家フリードリヒ・ヘッベルの詩による。続く 2 曲はベルクと同時代の詩人アルフレート・モンベルトの連作詩から採られており、「今私は一番強い巨人を倒した」は夢の中をよろめきつつ歩くりアルな感覚を、「眠っている私を運ぶ」は夢うつつのうちに運ばれるような感覚を、それぞれ歌っている。

マーラーの歌曲

《リュッケルトの詩による 5 つの歌曲》は、1901～02 年に作曲された連作歌曲集。詩人リュッケルトは 40 以上の言葉に精通した言語学者でもあり、東洋的要素をふんだんに含んだテキストがマーラー独特の死生観と融合した。それは 5 音階で形成される旋律など、本作を貫く作曲技法にも反映されている。この方向性はのちに、畢生の大作《大地の歌》に結実する。全 14 曲からなる歌曲集《若き日の歌》は、1880～89 年にかけて作曲され、3 集に分けられて 1892 年に出版された。本日はその中から、ドイツの高名な外科医リヒャルト・レアンダーの詩による「思い出」と、民謡詩集《少年の魔法の角笛》の詩にもとづく「別離」の 2 曲をお届けする。

ワーグナー＝リスト：イゾルデの愛の死

原曲は、1865 年初演の楽劇《トリスタンとイゾルデ》の最後を飾るイゾルデの有名な独唱。リストによるピアノ編曲は 1867 年に行なわれており、愛の法

悦を奏でるオーケストラの響きが見事に表現されている。

ワーグナー：《ヴェーゼンドンク歌曲集》

スイス亡命時代、ワーグナーと、当時のパトロンであった富豪ヴェーゼンドンクの夫人マティルデとの道ならぬ恋は、楽劇《トリスタンとイゾルデ》へと昇華された。そのマティルデから贈られた詩に作曲したのが、全5曲からなる《ヴェーゼンドンク歌曲集》。いずれの曲も叶わぬ愛をせめてこの世ならぬ夢へと託す内容となっているが、《トリスタンとイゾルデ》と同時期に作曲されたため、共通の楽想を聴くことができる。